施策マネジメントシート ~2019年度の振り返りから2020年度の取組へ~

①計画⇒実施 (Plan⇒Do) (5月中に記入)

		まちづ	くり分野	くらし分野			担当課	建設課・水道課・市民生活課			主活課
長期振興計画の位置づけ		政策	分野	社会基盤·環境			課長名	上妻敏男・高橋英樹・川畑利昭			
		施	策	1 快適な生活環境の整備			重点施策の該当	2019	-	2020	-
	施策の目的	対象	市民、	民、来訪者		環境に負担が	「少なく、便利で快適な	は生活を	送るこ	とがで	きる

施策の目標指標

目標指標(単位)	長振策定時	長振策定時 指標の推移(下段の(_)書きは当初見込み値					
口保拍保(半位)	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	2019年度実績	2020年度目標値	2021年度目標値	
住みよいまちと感じている 人の割合(%)	76.2	74.4	73.1	76.3 (77.0)	77.5	78.0	

市民アンケート調査の結果(施策に関する重要度と満足度)

平成29年度実績		平成30年度実績		2019年	度実績	度実績 2020年		2021年	度実績
重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)
82.4	43.9	85.6	43.0	84.6	40.7				
重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI
76.2	20.2	82.1	18.2	80.3	16.5				

施策推進のための取組の成果を測る指標

基本事業名	関連 戦略	成果指標(単位)	長振策定時	指標の推移(下段の()書きは当初見込み値		最終目標値
本 中 未 右	No.		28年度実績	29年度実績	30年度実績値	2019年度実績	2020年度目標値	2021年度目標値
住環境の整備		住んでいる住宅に不便を感じ ている人の割合(%)	10.2	9.2	11.6	10.6 (9.2)	9.2	9.2
住環境の整備		空家に関する苦情件数(件)	4	3	3	4 (3)	3	3
水の安定供給		有収率(%)	82.25	79.56	79.44	78.74 (82.28)	82.29	82.30
水の安定供給		水道使用料徴収率(%)	98.69	98.60	98.49	98.21 (98.72)	98.73	98.75
道路整備の充実		市道改良率(%)	59.8	59.8	59.8	59.8 (59.8)	59.9	60
港湾整備の充実		補修対象施設数(港)	56	56	54	53 (52)	51	50
地域特性を生かした景観 づくり		あっぽ〜らんどの利用者数 (人)	43,006	41,042	38,472	39,007 (44,000)	38,000 (44,000)	40,000 (44,000)
地域特性を生かした景観 づくり		都市公園利用者数(人)	32,190	31,000	31,000	31,400 (33,000)	32,000 (33,000)	33,000
環境衛生対策の推進		合併処理浄化槽の年間 設置基数(基)	82	74	95	76 (100)	100	75 (100)
環境衛生対策の推進		単独処理浄化槽からの 年間設置替え基数(基)	10	5	7	5 (10)	10	10
環境衛生対策の推進		火葬設備のトラブルの 件数(件)	8	0	0	0 (0)	0	0
自然環境の保全		市民一斉海岸清掃参加 者数(人)	1,800	2,021	1,800	0 (2,200)	2,000 (2,300)	2,000 (2,300)
自然環境の保全		美化活動によるごみの 収集量(t)	38	50	50	30 (54)	30 (56)	30 (56)
適正な廃棄物処理	1-1	可燃ごみの収集量(t)	2,800	2,783	2,791	2,759 (2,710)	2,800 (2,680)	2,800 (2,680)
適正な廃棄物処理	1-1	資源ごみの分別収集品 目(品目)	13	13	13	13 (18)	13 (15)	13 (15)
適正な廃棄物処理	1-1	不法投棄報告件数(件)	37	31	23	15 (20)	15	15

②-1 振り返り(Check)

	施策を取り巻く環境変化・市民ニーズ等への対応						
[建設課] 基本事業No.1・3・4・5	・生活仕様の多様化による利便性の追求と社会基盤施設の老朽化や災害に対する危機意識の高まりによる安全性確保のため、施設整備への要望は多く、迅速な取り組みと適正な維持管理が求められており、緊急性や優先度、効果を見極める必要がある。						
[水道課] 基本事業No.2	・市内すべての水道が上水道の給水区域となり、料金収入は一時的に増加したが、人口減少に比例して全体の料金収入は減少していく。また、投資した建設事業費の返済と老朽施設の更新が必要で、水道事業の厳しい状況が続く。						
[市民生活課] 基本事業No.6・7・8	・合併処理浄化槽については、平成21年3月策定の生活排水処理基本計画に基づき、国及び県、市の補助金を活用した事業を展開しているが、進捗状況としては、令和元年度目標の57.05%に対し、実績は56.24%と計画通りの成果となっている。しかしながら、近年国より令和8年度までに概成95%となるよう計画の見直しを指示され、その意向に合わせた数値に修正したところである。本市の令和8年度達成率は約80%としていたことから、現状の年間設置基数目標を大幅に増加させた取り組みが必要となっている。一方で生活排水処理対策について他の処理方法活用の可能性の検討について市長指示があり、検討チームで検討することとなっている。						

施策マネジメントシート ~2019年度の振り返りから2020年度の取組へ~

	施策の成果(貢献度の高い事業等)と現状・課題							
			成果	現状·課題				
[建設課] 基本事業No.	1•3•4•5	団地の ・道路 計や用 ・あっし	表市公営住宅等長寿命化計画に沿って、桜が丘) 改修や必要な修繕を行った。 や橋梁、漁港、港湾等の整備を進めると共に、設 日地測量の業務を行った。 ポートのとでは、新しい遊具の導入とふれあい館 別は備の修繕を行い、快適な利用が可能となっ	・市営住宅では老朽化やバリアフリー化未対応など居住水準の低い住宅が存在しており、建替えや改修を計画的に行う必要がある。 ・道路や橋梁、漁港、港湾等の整備については、多くの要望があるが財源の制約もあり、全てに対応できていない状況である。 ・あっぽ〜らんどや都市公園では、指定管理者やまちづくり公社と連携の取れた維持管理水準の確保が求められている。				
[水道課] 基本事業No.2		・漏水事故防止と有収率向上のために、ここ数年漏水修理の頻度が高かった路線の配水管布設替工事を行った。また、阿曽浄水場で各水道施設の運転状況を集中監視することにより、漏水箇所の早期発見につながっている。		・管路全体の更新率は低い状況にあり、耐震化を含めた施設整備を 計画的に実施する必要がある。				
[市民生活詞 基本事業No.		・合併処理浄化槽の設置目標が達成できなかった。		・合併浄化槽の補助金に関しては、市民へ補助金交付についての周知不足の可能性がある。また、自己負担(約6割)の影響や設置場所の影響等その他の要因について解析が必要である。				
今後の方向性			今後の方向性の根拠等(他施策との連携、総合戦略との関連、環境変化等を踏まえ記入)					
継続・現 [建設課] 基本事業No.1・3・4・5		.1•3•	・社会資本整備事業(交付金)を活用して市営住宅や道路、橋梁、漁港、港湾、公園等の整備を進めつつ、施設の長命化を図るため補修や修繕を行うなど、効率的な維持管理に努める。					
継続・現 [水道課] 状維持 基本事業No		.2	・施設の耐震診断など、資産の現状把握を行い、施設整備に関する投資と財源に関する見通しから中長期的な計画となる経営戦略を作成し、その方針に沿った事業経営を行う。また、経営基盤である水道料金の徴収率を準で維持する。					
継続•現 状維持			· 合併処理浄化槽設置に係る補助の内容など定期的な広報活動に努める必要がある。また、単独補助金の見直し [、] 施工困難場所への対応策など検討する必要がある。					

②-2 政策部会による振り返り(Check)

(6月中に記入)

今後の方向性	政策部会で出された施策に対する意見等(将来像の実現に向けた課題や優先度、市民との協働のあり方など)
継続•現 状維持	【市民福祉部会】 〇施策担当課の記載する方向性のとおり。
状維持	【産業振興部会】 【水道課】 ・経営基盤である水道料金の徴収率を高い水準で維持し、施設整備に関する投資と財源に関する中長期的な見通しから、収支計画となる経営戦略を作成し、その方針に沿った事業経営を行う。